

2020年度事業報告書

I 概況

1. 入館者

2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、野球界は選抜高等学校野球大会が中止、プロ野球も開幕が延期され、無観客試合でスタート、その他のアマチュア野球でも大会が変則的な開催、中止となるなど未曾有の状況となりました。

当館においても、緊急事態宣言発出のため4月1日～6月4日まで休館、2021年1月25日～3月18日までは平日休館となりました。また、地方や海外からのお客様の激減、夏休み短縮による小・中学生の来館減などにより、来館者数は対前年84.1%減の16,808人となりました。

このような厳しい状況ではありましたが、SNSやYouTubeの活用をはじめ、北海道博物館が提唱したオンラインでの教育的な情報配信「おうちミュージアム」への参加、恒例の「野球の記録をつけてみよう」や「夏休み審判学校」のオンラインでの開催、規則改正や2020年殿堂入りの田淵幸一氏のトークイベントをオンラインで開催するなど、博物館としてウィズコロナの時代に対応すべく、新たな活動を行いました。これらは、今後にも活かされる経験になると考えております。

また、野球界各団体の皆様のご協力のもと、約15年ぶりにホームページをリニューアルいたしました。以前のホームページより閲覧しやすくなっており、スマートフォンにも対応しておりますので、今後の情報発信に寄与することと思っております。

2. 維持会員

維持会員は法人65社(前年比3社増)、個人会員152人(前年比8人増)、ジュニア会員6人(増減なし)となりました。今後も、さらには加入活動の促進と会員特典などの見直しを図り、ファン拡大に努めてまいります。

3. 野球殿堂

特別表彰の故・前田祐吉氏、故・石井連藏氏の表彰式は、8月15日(土)明治神宮野球場で開催された東京六大学野球春季リーグ戦の慶應義塾大学対早稲田大学の試合開始前に、両氏のご子息にご出席いただき、行われました。

また競技者表彰の田淵幸一氏の表彰式は、本来であれば7月19日(日)福岡 PayPay ドームで開催されるオールスターゲーム第1戦の試合開始前に行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でオールスターゲームが中止となったため、8月18日(火)東京ドームホテルの宴会場「天空」で出席者をご家族、ご友人の山本浩二氏などに限らせていただき、行いました。

次に、2021年の殿堂入りは第61回競技者表彰委員会からは該当者なし、第60回特別表彰委員会から川島勝司氏、佐山和夫氏が選出されました。

これにより、殿堂入り顕彰者は、特別表彰110名、競技者表彰99名で合計209名となりました。

なお、2020年3月に発足した表彰委員会規程改正小委員会ですが、今年度は4回開催いたしました。2021年度に開催する委員会で最終案を採択し理事会で承認後、2022年の殿堂入りより新規規程を適用する予定です。(通算6回開催)

4. 普及・広報活動

コロナ禍ではありましたが、野球振興につながる事案に積極的に対応し、また当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に協力して広報に努めました。

5. 資料収集

博物館の基礎ともなる展示資料及び図書の収集を積極的に行いました。ご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。

①収集資料:610点(前年456点)

②収集図書:754冊(前年911冊)

なお、資料収集に際しては、将来に何を残すかを組織的かつ円滑に行うために、「収集資料検討委員会」(原則、毎月1回開催)において協議し決定しております。

6. ホームページのリニューアル

各野球団体様にご協力いただき、導入後約15年経ったホームページをリニューアルいたしました。スマートフォン、タブレットでも閲覧しやすい画面に変更したほか、Eコマース(オンラインショップ)を導入し、お客様により楽しんでいただけるサイトを構築いたしました。

7. その他

- ・日本サッカーミュージアムを訪問し、運営に関する情報交換を行いました。
- ・中小企業庁の持続化給付金を申請し、7月1日付にて200万円の入金がありました。